令和４年度　自己評価・学校関係者評価

令和５年３月１７日
静岡なかはら幼稚園

１　幼稚園の教育目標

| |
|---|
| いきいきと やる気を持って 遊ぶことができ 自立心のある子どもに育てる |

２　本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

１、明るく健康な子に（あいさつ、おはよう・ありがとうなど）
（体をいっぱい使ってあそぼう）
２、自立心があり周りの人のことをよく理解できる子に
３、身の回りの事物に関心を持つ子に（自然との関わり、園外に多く出る）
４、言葉をよく理解して上手に使える子に（お話をしっかり聞く、話す）
５、積極的に表現できる子に（自分の思いをことばや絵に）

３　評価項目の達成及び取組状況　　※関係者評価の欄に記入してください。

Ａ－Ｂ－Ｃ－Ｄ（よい・努力したい）　４段階

| 評価項目 | 結果 | 理　　由 | 関係者評価 | 意　見 |
|---|---|---|---|---|
| ① 保育の計画性 | B | 経験のある職員が声を掛け合い、全体としては余裕を持って進めることができたように思う。しかし、学年や担当部門によっては遅くなってしまったものもあり、大いに反省すべき点であると感じる。先の見通しを持つことが苦手な職員には、プレッシャーにならない程度にフォローしていきたい。 | B | ・今年度も例年とは違う対応が必要な中、天候対応、会場手配等苦労が少なくなかったと思う。<br>・職員のチームワークでしっかりとした準備の下、実施したことと思う。<br>・大局を見ることができる職員の育成を期待する。<br>・新しい職員が多いとのことだが、今後経験を積むことでスムーズになると思う。<br>・仕事の進め方は、個人で差が出やすい。ベテランが手本となって教えていってほしい。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ② 保育のあり方子どもへの対応 | B | 子ども一人一人のことを、園全体のこととして捉えるという認識が職員間で定着してきているように思う。一般的に言われている不適切な保育について、全職員で研修を行い、自分たちの保育を見直すきっかけとなった。職員間で、良いことは良い、おかしいことはおかしいと言える関係性を作り、今後も様々な視点からの子どもの見方や理解を柔軟に取り入れていきたい。 | A | ・子ども一人ひとりのことを園全体のこととして捉える意識の定着は素晴らしい。<br>・職員間での意見の交換、いわゆる風通しの良さの更なる向上を期待する。<br>・職員間の連携はとれていると思う。今後も、子ども達のことをきちんと見てほしい。<br>・子どもの個性を大事に、全体をまとめることはたいへんだと思う。<br>・前向きな取組を期待する。 |
| ③ 教師としての資質能力、適正など | B | 報告・連絡・相談の徹底が、浸透してきたと感じる。今後、職員一人一人が、様々なことを自分のこととして考えながら協力し合えるよう、更にコミュニケーションを深め助け合っていきたい。また、危険予知や危機管理に対する意識をきちんと持ち、対応していきたい。若い職員の一般常識や、社会人としてのマナー等は、気になることがあれば、その都度伝えていくことで、身についてきているように思う。 | A | ・ﾐｰﾃｨﾝｸﾞ等、更なるｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝの深化を期待する。<br>・職員の意識の世代間格差もあると思うが、その場その場でのｱﾄﾞﾊﾞｲｽが若い職員の気づきにつながると思う。<br>・どこの会社でも、若い人の対応は大変と聞く。ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝをとりながら信頼できる関係築いてほしい。 |
| ④ 保護者への対応 | A | 今年度も、保護者の皆さまのご理解とご協力をいただきありがたかった。<br>時にご意見をいただくこともあったが、繰り返すことのないよう、職員に周知するようにした。今後も園の方針は守りつつ、保護者からのご意見を参考にさせていただきながら、保育を進めていきたい。また、気軽に声をかけてくださる保護者も多いが、遠慮されている方もいらっしゃることを忘れずに気を配っていきたい。 | A | ・小さな声にも配慮していることを、継続してほしい。<br>・園をよくするための意見箱が置かれているのを見たが、良いことだと思う。<br>・どんなことでも聞いてくれるということえ安心できると思う。 |
| ⑤ 地域の自然や地域との関わ | B | 田植えや稲刈りでの他園との交流はできなかったが、中学生の職場体験や、中学生の家庭科の授業でのふれあい実習、高校生の研究等を受け入れることができ、良い刺 | B | ・今後も子ども達に様々な体験をさせてほしい。<br>・コロナ禍で他との交流ができないのは必然。来年度に期待す |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| り | | 激となった。残念ながら聴覚特別支援学校幼稚部との交流保育は実施できなかった。幼児組は相棒活動（散歩）に出掛ける機会が少なく残念だった。乳児組は散歩に出掛ける機会が多くあった。今後も大切にしていきたい。 | | る。 |
| ⑥ 研修と研究 | B | 今年度、多くの研修に参加させていただき学ぶことはできたが、職員への共有が徹底できなかった。ただ、職員不足もあり、参加できない研修もあり残念だった。また、忙しい毎日の中で、教材研究がおろそかになってしまうことがあった。職員で協力しながら進められるようにしたい。 | B | ・研修成果の職員間情報共有は大切だが、人員が限られ日常業務をこなす中で難しいと思う。その時間や方法の模索を。<br>・日常が忙しく、職員間の共有は難しいと思うが、共有できると良いと思う。 |
| ⑦ 外部アンケート | B | 昨年同様、運動会や発表会等では、様々な制限がある中での開催となり、職員は心苦しさを抱くこともあったが、保護者の皆さまからは、職員を労わる言葉や励ましをたくさんいただいた。これからも、子ども達にとって何が大切かを第一に、保護者と園とが協力していきたい。<br>未就園児対象の催し物は、園庭開放だけでなく、以前のように開催することができ、内容によって参加人数にばらつきがあることを実感した。 | A | ・制限のある中での職員の皆さんの真摯な対応が保護者にも伝わったと思う。今後も、保護者との良い関係構築に努めてほしい。<br>・保護者が安心して預けることができる幼稚園だと思う。これからも、子どもっ地のためにがんばってほしい。 |

## 4　本年度の重点課題の総合的な評価結果

各学年とも、担任が重点課題を念頭に置きながら、保育を進めてくれていた。季節の事象や園内の豊富な自然に興味関心を持ち遊びに取り入れる姿も見受けられたが、特に幼児は自主的に遊ぶことができる時間がまだまだ少ないように感じる。音楽発表会や劇遊びでは、表現する楽しさを感じる子が多かったように思う。今後は、自分の思いや考えを自分の言葉で表現することや、生活や遊びの中で考えて試してみることを大事にしていきたい。ここ数年課題と感じている、歩くことに慣れていない子が多いということに関しては、今後も課題意識を持って取り組んでいきたいと考える。また、積極的に挨拶をする子が、まだまだ少ないので、職員が明るく元気に声を出していくようにしたい。

| 課題 | 具体的な取り組み方法 |
| --- | --- |
| 指導計画の編成 | 様々な対応を必要とする今の子ども達にとって、大切なことは何か、必要なことは何かを考え、全職員の教育・保育観、保育に対する姿勢、行事に対する具体的なイメージの統一、柔軟な対応や考え方が望まれる。また、子ども達が自発的に遊ぶことができる時間を大切にすることにも重きをおいていきたい。 |
| 生活経験を豊かに | 園バスだけでなく、徒歩での園外保育も積極的に取り入れていきたいと思いながらも、ほぼ実施することができなかった。園バスで出掛ける園外保育も、教育課程を考えるうえで大切なことだと感じるが、遠くに出掛けるだけでなく、園の近くで散歩を楽しみ、地域に親しみを持つことも積極的に考えていきたいと思う。 |
| 挨拶をしよう | 登園時に、元気に挨拶をする園児が少ない。職員から声はかけているが、その声に応えるという姿が少ないように思う。日頃から、単語のやりとりだけで『会話』にならないことも多いと感じるので、子ども達との『会話』『対話』を意識して行っていきたい。 |
| 満３歳児保育の充実 | ３歳児１号認定児（幼稚園）数が、減っている。他園の様子を聞くと、満３歳児（３歳の誕生日を迎えた翌日から入園できる）が多数在籍しているケースが多い。保育室や保育教諭確保の問題はあるが、満３歳児を積極的に受け入れ、充実させていく必要があると考える。と同時に、保育教諭の確保が最も大きな課題と思われる。 |
| 評価委員からのコメント | ・昨年同様、コロナ禍で、園運営には苦労が多かったと思う。そんな中、先生方は、子ども一人ひとりに気を配り、細やかな対応をしたことと思う。次年度は、以前の生活様式に戻るスタートの年だと思う。慎重な対応必要と思われるが、子ども達が新しい風景を体感できることを願い、今後も今と変わらぬ熱意と愛情を持って接してくれることを期待する。<br>・数十年ぶりに幼稚園にかかわることになり、公開保育に参加し、昔とずいぶん変わってきていると感じたが、幼児教育の大切さ、大変さは同じだと思う。<br>・未来を担う子ども達の保育にかかわっている先生方にエールを送りたい。難題山積みですが、子ども達の笑顔のためにがんばってほしい。<br>・公開保育に参加した際、子ども達がとても落ち着いていると感じた。先生方の対応がとても良いのではないかと思う。<br>・職員の確保はどこも大変だと聞く。<br>・バスの事故、不適切保育等、問題がたくさん出ているが、それらのことをしっかり問題として捉え、今後の保育に役立ててほしい。<br>・これからも応援しています。<br>・教育現場で様々な問題が起きている昨今、小さな子どもを預かる園では、神経を注ぐ日々だと思う。 |

| | |
|---|---|
| | ・職員不足や時間の制約がある中での先生方の努力は、本当に大変だと思う。<br>・課題も多いと思うが、これからも前向きに取組んでほしい。 |